



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第56号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第6回 幌延町議会 臨時議会

8月18日開会の臨時会
において、議案3件、意見
案2件は原案のとおり決
定しました。

(議案1～3号)

議案3件は、幌延町立診療所建設にかかる工事請負契約の締結について、建築主体は大成建設(株)、電気設備は西山坂田電気(株)、機械設備は池田暖房工業(株)が落札し、これを承認し総額4億4百2万9千円で、工期は平成23年7月20日まで、10月1日には開所の予定となります。

(意見案1～2号)

1. 地域林業、木材産業の振興を通じた山村の活性化を図るため国に対しこの具体的な政策と予算の拡充に向け政府担当省等に意見書を提出するものであります。
2. 国道を始め、道々、町道の整備について、地域の課題に対応できる制度の充実を図るよう担当省等に意見書を提出するものであります。

議会改革について激論

(定数削減と報酬)

今年2月より全員協議会で、議員定数と議員報酬のあり方について意見交換を行いながら議論を重ねてきました。

今回8月23日の第6回全員協議会で一定の合意がなされ9月定例会において議員発議される事となった。

議員定数に関しては各議員から様々な意見が出され議論が白熱したが、最終的には1名減の9名で決着合意された。

議論の主な内容は次のとおりです。

1案は平成19年当時の町の人口と現在の人口では残念ながら2百名以上も減少している、また近年の地方自治体の財政状況が厳しさを増す中、議会自ら定数の削減を行い財政の健全化に取り組んでいる。その結果近隣町村でも議員1人当たりの人口数が3百名以上となっている。したがって我が町の議員定数も8名で良いのではないか。

2案は今、町の財政は近

隣の町村から見ても非常に健全で、議員定数削減だけが議会改革では無い、現状の常任委員会活動でも2名が重複して活動している状況なのにこれ以上の削減は議会としての機能の低下につながる恐れがある。返せば、町民の不幸でもあるし、新たに議会を目指そうとする人の意志をも削ぐ恐れがある。

まちづくりには少数意見も大変大事なことで、などとして現行の10名を主張した。

議論は平行線をたどったが、議長の下、定例議会へ議員の同意の下、定例議会へ議員発議として上程したいとの思いと、平成21年度に施行された、まちづくり基本条例の6章第19条に鑑み判断してほしいとの思いで最終調整となった。

結果、定数1名削減の意見が多く、議員定数9名で合意に至った。

6回に及んだ協議会だったが議員一人ひとりはこちらのまちづくりに対する

熱意は同じだと思うが、定数に関しては、それぞれの支持者や後援会の立場により定数に対する考え方に違いが見られた。

議員報酬に関しては議員の期末手当部分の百分の十五の加算率を廃止する旨の議論がなされ、この部分では、宗谷総合振興局管内での議員支給例が無く当然廃止との意見が多く出された。また、一部にこの際、期末手当を本棒に含めた月割り表示にしてはとの意見が出されたが、全道でもそのような表示例が無く、かえって町民や関係機関に混乱を与えるとの多数意見で同意は得られなかった。

以上、議員定数と報酬に関する全員協議会での審議内容を報告します。

お詫びと訂正

議会だより第55号の平成22年度補正予算総額で誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

誤 42億7千2百21万9千円
正 44億7千2百21万9千円

サークル紹介

今月号から町内で活躍しているサークル等の団体を紹介していきます。



『遊考会』
会長 伊藤 成信

Q. インタビュー

遊考会ではどんな活動をしていますか。

A. 夏はカヌー、冬にはスノーモービルなどをしてきます。子供たちや転動して来た方に幌延でしか味わえない遊びを体験して楽しんでもらうため、町の事業やイベントに協力しています。遊びに多少の危険は付き物です。何が危険かを知ってもらい、ルールを守る大切さを教えています。

Q. 何が1番楽しいですか。
A. 子供たちの笑顔が見られた時。もう1つは、反省会で仲間と語り合っている時。

チャレンジ教室・カヌー体験



常任委員会 報告

第6回総務文教常任委員会

(8月11日)

調査事項

(1) 幌延町不祥事再発防止対策の報告について

本年4月に発生した町職員の公金着服・横領事件の再発防止のため副町長を委員長とする「幌延町不祥事再発防止対策委員会」を設置し今後職員一丸となって再発防止に努めるとの報告があった。

問 役場から遠隔にある施設等の使用料、手数料等を早期に会計課に納金すべきでないか。

答 そのように改善を図っていく。

問 公務員倫理の向上ということで各種研修を実施すべきでないか。

答 今後も外部から講師を招いて職員全員を対象に研修を実施していきたい。

問 長い間同じ部署に配属するなど人事異動にも問題

はないか。

答 技術職等専門性が求められる非常に厳しいものがあるが、多様な人材確保等考慮し取り組んでいきたい。

問 発生の要因についていろいろあると考えられるが、職員間のコミュニケーションが不足しているのではないか。

答 情報や意見交換もパソコンでやるようになり議論の場が少ない状況である。今後は連絡会議等を通じて解消していきたい。

(2) 7月28日からの大雨による被害状況について

○アメダスデータによる7月27、29日までの総雨量は160mmで道路の路肩崩落や農地の冠水等があり復旧については今後利用できる制度で対応していく。

(3) 幌延町民憲章の制定について

○町内制定委員会による素案は出来たが(5つの条文)今後町民から意見の募集を行ない年内に成文化し制定する予定になっております。

第5回産業厚生常任委員会

(8月11日)

調査事項

(1) 各種予防接種の助成について

○乳幼児の対象接種

a. 髄膜炎や喉頭蓋炎などの予防としての「ヒブ予防接種」

b. 肺炎球菌の体内予防、また「水ぼうそう」、「おたふくかぜ」の予防接種。

○女児の対象接種

a. 13歳以上15歳以下を対象とした「子宮頸がん」の予防接種。

○70歳以上の対象接種

「高齢者肺炎球菌」予防接種について説明があり、いずれも個人負担は千円で町内の対象者にぜひ受けてほしいものであります。

問 本件については町内各家庭には回覧等で早急に周知徹底を図るようにしていただきたい。

答 早急に取り進める事としたい。

編集にあたって

9月に入っても残暑厳しい日が続いておりましたが皆さん元気で過ごしていきましょう。

左の写真は7月28・29日に降り降った大雨の被害状況です。牧草畑が完全に水に浸り、湖のような状態になってしまいました。他にも道路が崩れたり橋が破損したりとの被害が報告されています。また、9月7日には集中豪雨があり、町内の道路数ヶ所でも部分的な冠水が見られました。自然災害に巻き込まれないためにも気象情報に注意をして皆で声を掛け合いながら元気に過ごしていきたいです。



編集委員長
副編集委員長
編集委員

植村 敦
無量谷 隆
菅原利彦
西澤裕之